



地域おこし協力隊  
**古瀬 志織さん**  
(市内荒町出身)

みなさん、こんにちは。今年4月に尾花沢市地域おこし協力隊に着任した、古瀬志織と申します。私は、東北芸術工科大学で油絵を学び、卒業後は仙台市の会社で働きながら絵画作家として活動していました。2年前からは、ものづくりを通して地



域の魅力を伝えることを目標に、母校である常盤小学校を舞台にした、子供向けのワークショップを毎年開催しています。この経験を活かし、尾花沢の魅力ある文化や風景を沢山の人に伝えられるよう、自分のスキルを活かしながら頑張っていきたいと思っています。

また、今年3月に矢越地区にオープンした「産業創出型シェアハウス」の企画・運営を、私が担当しております。まだシェアハウス入居者の方がいないので、現在はミーティングスペースを使った地域のお茶会や交流会を開き、まずは多くの方に足を運んでいただくことを目標に活動しています。宮沢・矢越の



シェアハウスから、おばねを盛り上げていけるよう、これからも自分らしく頑張っていきたいと思えます。ちなみに、入居者は現在も募集中ですので、尾花沢で起業・就農を目指したい女性の方がいらつしやいましたら、ぜひお声掛け下さい。

**あとがき**

議会だより編集の研修会に参加すると、講師の方に「文字だけでは誰も読まない、写真や空間を入れなさい。」と指摘されます。写真を入れることは出来ませんが、空間が出来ると絵などで埋めたくなくなり、余白を作っても不自然になったりして、空間を作るのはなかなか難しいことです。今回から一般質問が、2人1ページから1人1ページになりました。空間のある、読みやすい議会だよりを目指します。

詰め込み過ぎない余白のあることは、何事にも共通するようになっています。  
(大類 好彦)

**表彰**

全国市議会議長会表彰規定に基づき長年、市の発展に尽くされた功績により表彰状が伝達されました。

**全国市議会議長会表彰**  
(勤続20年)

伊藤 精一 前議員

- 市議会だより編集委員
- 委員長 塩原未知子
  - 副委員長 小関 英子
  - 委員 大類 好彦
  - 委員 笹原 和子
  - 委員 伊藤 浩
  - 委員 鈴木 清
  - 委員 鈴木 裕雅

発行／山形県尾花沢市議会 編集／市議会だより編集委員会

おばねざわ市議会だより

94号

平成29年7月15日発行



～花でもてなす尾花沢～

15年目の花のかけはし事業は6月18日(日)早期6時から7時まで、国道13号バイパス大石田・尾花沢口交差点に日々草4000本を無事定植できました。今年も両市町の玄関口にきれいで元気な花咲かせてね！

**6月定例会**

- 補正予算・議案の審議……2
- 一般質問……4
- 議会改革検討委員会報告……12
- 請願・陳情……14
- モニター制はじめる……15
- 私のひとこと・表彰……16

# 尾花沢小学校 高学年対象 第3放課後児童クラブ新設

補正  
予算



## 高学年学童新設

**Q1** 放課後児童クラブ運営業務委託料34万6千円の内容はどんなものか。

**A1** 尾花沢小学校に1年生対象40名、2年生から4年生対象70名のクラブがあるが、高学年対象に校舎内に改築し新設したい。

**Q2** 新設する間夏休みはどうするのか。

**A2** 図書館に行き勉強するなど工夫したい。

**Q3** 1クラス2名の指導員は少ないので、増やすべきではないのか。また、児童の募集は早くして欲しい。

**A3** 委託先、関係課と検討します

放課後や夏休みなどに適切な遊びや生活の場を提供し、安全で健全な育成を図るために放課後児童クラブがあります。対象児童は小学校1年生(第1放課後児童クラブ)、2年生から4年生まで(第2放課後児童クラブ)ですが、「高学年児童も対象にしてほしい」という要望があり、尾花沢小学校に第3放課後児童クラブ(高学年)を新設することになりました。

## 雅楽楽器購入



市無形文化財、尾花沢雅楽の保存と後継者育成のため、楽太鼓など3点、笙(しょう)などの笛6点の購入に補助します。

## 荒楯住宅取壊工事



荒楯住宅残り1棟の取壊し工事請負費が決まりました。今後、安価な分譲を目指しこれから議会で協議が進みます。

## 定例会のあらまし

6月定例会は6月9日から16日までの8日間の会期で開かれました。

一般質問は7人の議員が行い、請願2件を審査、専決処分の承認、一般会計補正予算、新庁舎建設工事請負契約、農業委員会委員の任命など34議案を審議し可決しました。



## 安全祈願祭

新庁舎建設の安全祈願祭が約80人が出席し7月3日に行われました。あいにくの雨天となりましたが、加藤市長は「雨降って地固まるのことわざ通り、立派な庁舎が完成する事を望みます。」と挨拶されました。今後、建築主体工事をはじめ、多くの市内業者が参加し、建築がすすめられていきます。完成期日はいずれもH30年11月30日です。

## 新庁舎建設工事請負契約先

建築主体工事	14億9,580万円	本間・ことぶき・奥山・建設 特定共同企業体
機械設備工事	3億9,960万円	黒澤・マルニシ特定共同企業体
電気設備工事	3億7,800万円	東北電化・ユアテックサービス 特定共同企業体

# 新庁舎建設工事請負契約を議決 建築主体など工事地元企業に決定

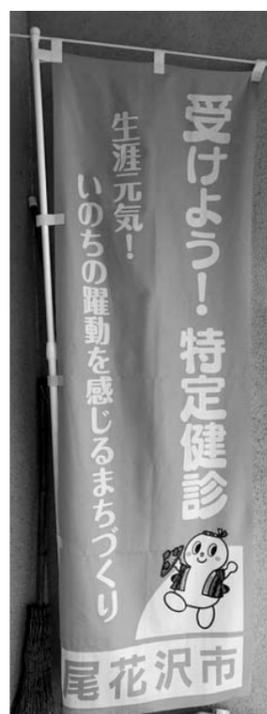
# 災害時、市民を守れる防災対策を

市長……計画的に推進していく

**防災対策について**  
**問** 非常食として、準備されている品目と数量はどれくらいか。  
**答** 避難所に指定の公共施設16箇所に分散し、アルファ米5600食・ステックパン5900食・飲料水6300本で備蓄目標の約50%でH30年まで計画的に配備の予定である。銀山地区は観光客用にも備蓄されている。  
**問** 無電柱化・電線地中化をすすめるべきか。  
**答** 国では、昨年12月「無電線地中化を施行している。道路管理者と電線管理者との

協議や工事経費の負担など課題があり、情報収集に努め研究していく。  
**問** 断水時のトイレ使用はどうするか。  
**答** 庁舎外に非常用汚水槽を3基埋設し簡易トイレとして使用を計画している。  
**AED対策について**  
**問** AEDが必要な現場にすみやかに届ける対応が必要。また、24時間使用可能な場所に設置すべきか。  
**答** これまで事例はないが、AEDを持参し早期の救命処置をするのは有効と考える。新庁舎の施工段階で屋外にAEDの設置を考えている。

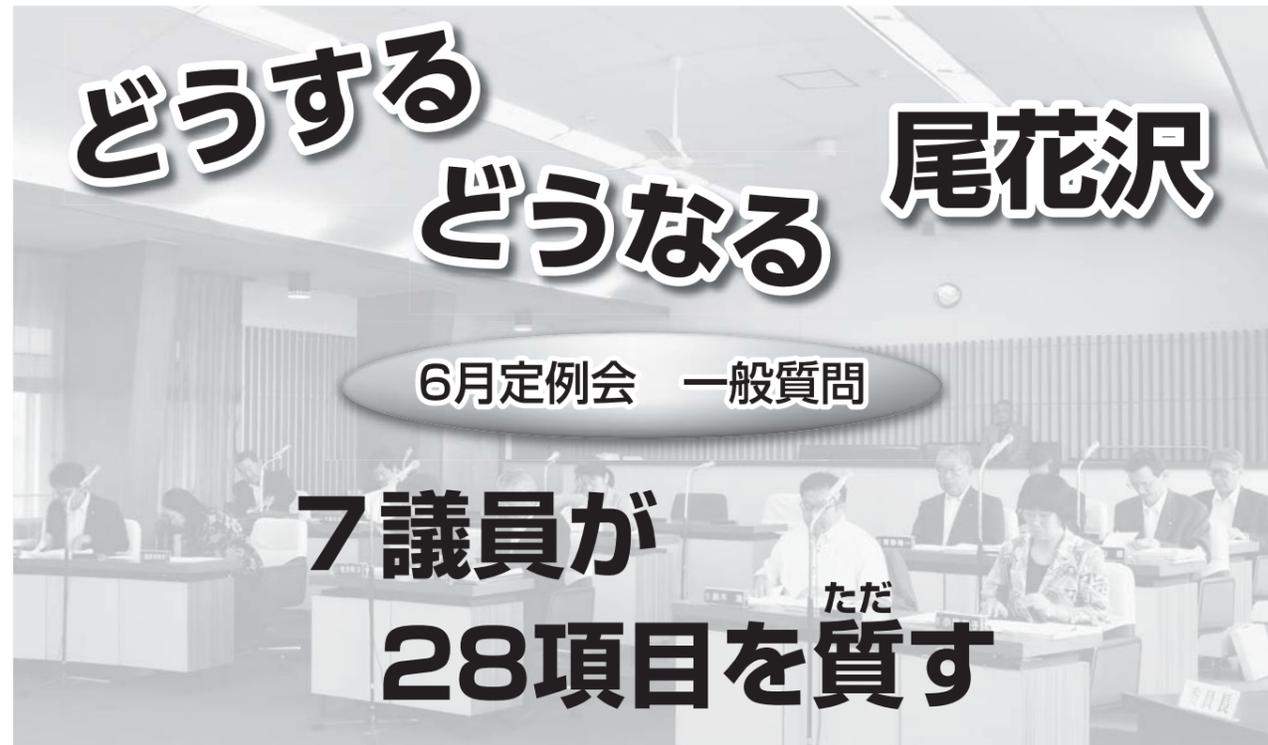
**子ども議会について**  
**問** 子ども議会を開催し、子ども達の意見などを市政に反映し、郷土愛が高まれば定住にもつながると考える。  
**答** 子ども議会の開催を含め、実のある取り組みを多面的に検討する。  
**がん検診の推進**  
**問** 市民のがん検診受診率向上や再検査受診



のために、企業で働く方が検診を受診しやすいように事業者働きかけが必要ではないか。  
**答** H27年度の大腸がん・肺がん検診率は50%です。「山形県誰もががんを知り、県民みんなががんの克服を目指す条例」が制定されている。事業者や関係機関と連携し受診向上に努めていく。



小関 英子 議員



※一般質問は、議員1人あたり最大1時間の持ち時間で行われています。

頁	質問議員(質問順)	質問項目
5	小関 英子	(1) 防災対策について (2) AED対策について (3) こども議会について (4) がん検診の推進
6	塩原 未知子	(1) 徳良湖周辺マスタープランについて (2) 尾花沢の伝統ある地域のまじりの伝承について (3) 歴史文化史跡保存について (4) 新庁舎建設後の尾花沢簡便雪山雪冷房システムについて (5) 婚活支援について
7	伊藤 浩	(1) 平成29年度一般会計予算について (2) 今後の農業政策について (3) 文化財の保護について
8	青野 隆一	(1) 国道347号の通常通行について (2) 尾花沢農産加工有限会社について (3) 尾花沢市ふるさと振興公社の業務委託料について (4) 定年退職予定の管理職員の活用策について (5) 尾花沢市教育等の振興に関する大綱について
9	星川 睦子	(1) 債権管理条例の制定について (2) 介護予防・日常生活支援総合事業について (3) 防災の観点から、無電柱化、電線地中化を促進すべき
10	鈴木 清	(1) 母子世帯の視点で考える「子どもの貧困」について (2) 国民健康保険の県との共同運営化について (3) 尾花沢小学校の給食を補食給食から完全給食に (4) 図書館での学校文集・記念誌の写真切り取り
11	奥山 格	(1) 本市の農林業の施策取組について (2) 農業の六次産業化について (3) 働く場の確保について (4) 市内中小企業の支援の取組について

※5月1日から、クールビズにつき議場でもノーネクタイです。

### 3年後に迎える 徳良湖築堤100周年記念事業はいかに！

市長……花笠踊り発祥100年ととらえ、市民参加のワークショップを開催、徳良湖マスタープランは10月までにまとめる

#### 徳良湖畔の活用

**問** 湖畔の活用されていない市有地の今後の活用について徳良湖を考えるワークショップを開催したというが内容はどうだったのか。

**答** マスタープランの策定参加者は、徳良湖を拠点に活動している団体や高校生を含む40名で北村山高校を会場に、「魅力・課題・将来の夢」の3テーマについて意見交換を行なった。豪雪による倒木と害虫や病気による枯死は倒木処理され、残したい古木は樹木医に個体調査を依頼している。市有地は適正に管理し、民地は買い上げも考慮

#### 保存や伝承

し土地鑑定士に湖畔周辺の査定を依頼する。

**問** 歴史文化史跡保存や伝統行事の後世への伝承について。

**答** 地域の伝統行事を次世代に伝承するには、若手リーダーが「鍵」とな

るため、地区公民館を中心に元気な地域づくり交付金や各種助成制度を活用して地域の伝統行事の伝承を進めていく。まもなく迎える徳良湖100周年を念頭に、花笠踊り源流5流派保存協議会や地域と話し合いをしながら進めていく。



尾花沢まつり屋台10分1模型  
(尾花沢小学校校長室展示ケース)



塩原 未知子 議員

#### 雪資源の利活用

**問** 庁舎の雪山冷房は新庁舎建設後どうなるのか。

**答** 雪山冷房は今年度で終了する。今後はこの成果を活かし、民間企業でも雪を利用した施設を整備する時のデータ提供の他、雪氷熱利用設備の助成を継続して、住みよいまちづくりを推し進めていく。



雪山上空写真

#### 一般会計について

**問** 今年度の一般会計予算を見ると、市民一人あたり約70万円となり、山形県内では最も多い金額となっているが、市長はこの数値をどう分析しているのか。

**答** 本市は面積が広く集落が散在しているため、道路や水道などのインフラ整備や維持のコストが高くなる傾向にある。この要因に加え、庁舎建設に関する予算が組まれており、投資的経費比率が18・4%と高くなっている事などが背景になっている。

**問** 市税など、自主財源の確保・向上策として

何が最重要課題と考えているのか。

**答** 市税については、本市の基幹産業を担う農家の所得向上を目指し、首都圏や関西でのトップセールスを積極的に行っていきたい。財政調整基金についてはH27年度末で目標額であった8億円を超えたが、健全な財政運営を図るためにも今後も維持しながら特定目的基金への積み立てを行っていききたい。

#### 今後の農業政策について

**問** 稲作における生産調整制度がH30年から廃止となり、農家は将来の農業に不安を抱えている。尾花沢市農業再生協議会は、

今後どんな活動方針で進めるのか。

**答** 国からの生産数量目標配分は廃止されるが、需給情報を基に山形農業再生協議会として生産の目安を掲示する。市の農業再生協議会もこの数値を基に、従来どうり需要に応じた米生産の推進に参画していく。

**問** 増え続ける鳥獣被害について、自家作物などの潜在的な被害の調査を進めるべきではないか。

**答** 本市における農作物被害の全容を把握する事は、今後の対策を進める上でも大いに参考になると思われるので、その手法についての検討を進める。

### 市税等、自主財源の確保・向上策として 何が最重要課題と考えているのか

市長……産業の振興、財政調整基金の持続的な維持と考える



伊藤 浩 議員

#### 文化財の保護について

**問** 市内で唯一の国指定遺跡である延沢城跡の保護をどう進めるのか。

**答** 昨年・今年度とジオラマ模型を制作し、延沢城跡について広く市民に伝えたい。また、保存会と連携し、環境整備を進めていきたい。



延沢城跡遠景

# 宮城圏域への農産物販路拡大策について

市長……山菜などの周年農業生産について  
JAや生産者と連絡を図っていききたい

## 農産物の販路拡大

**問** 国道347号線の通常通行を活かし、人口230万人、野菜自給率43%の宮城圏域への農産物の販路拡大にどう取り組むのか。

**答** 国道347号絆交流促進協議会に農林部会を設置し、産直施設関係者による視察研修を行っている。山菜などの周年農業生産についてJAや生産者と連携を



JAグリーン前 建設予定地

図っていききたい。  
**問** 尾花沢農産加工(有)が設立30年となり、施設の老朽化も目立つ。大株主である市として、雇用確保や農業振興を今後どうしていくのか。

**答** 本市農産物を中心に漬物などへの加工を行い販売する6次産業化の先駆的な施設であり、新たな商品開発や販売先の確保など、JAと連携した取り組みを進めたい。  
**意見** 生鮮野菜などの出荷販売や豊かな地元食料を活用した新たな商品開発など、宮城圏域への食料供給拠点とするためにも、一層の設備投資や人的支援を要望する。



青野 隆一 議員

## 委託料の積算は適正か

**問** ふるさと振興公社へ業務委託している電話交換・図書館・芭蕉清風資料館窓口業務で、公社のH27年度経常利益は824万円となっている。委託料の積算は適正なのか、相当の人員費が社員に支払われているのか。

**答** 各種業務委託料の積算は、賃金、社会保険など福利厚生費の人員費、一般管理費などから積算は適切に行っている。  
**意見** 今後は委託料精算請求書の提出を求めするなど、地方自治法の趣旨に沿った対応を要望する。

## 介護予防・日常生活支援事業は

**問** 新しい制度の中で、費用が高くなったり、サービスが低下したりしていないか。

**答** 要支援1・2の方について制度が変わったが、費用が高くなることはないし、円滑に移行している。

**問** 大きな変更点はなにか。

**答** 要支援1・2の方で訪問型サービスと通所型サービスのみを利用する場合、「基本チェックリスト」による手続きを行うことにより、短い期間でサービスの利用が始められる

ようになった。



貯筋で健康フェスタ

**問** 要支援1・2の方で、2つ以外のサービスを受けた場合は、受けられるのか。

**答** これまでと同じ手続きを経て、受けることができる。

**問** 介護保険は複雑で分かりにくいですが、周知はどうしているか。

**答** 市報とお知らせ版で周知を図った。福祉課の窓口相談に来ていた

## 無電柱化の計画は

だきたい。

**問** 市内にはりめぐらされた電線を見て危険と思わない人はいない。地震で倒れたり、火事の消火活動の邪魔になったり、感電の危険性もある。法律改正もなされたので、本市においても無電柱化の計画を立てるべきではないか。

**答** 国においては緊急輸送道路における防災対策として無電柱化促進の取組みを進めているが、本市の計画はない。

## 債権管理条例の制定

**問** 平成27年度決算で、収入未済額は約2億

## ふるさと愛を育む教育

**問** 子ども達が尾花沢を大好きになる『ふるさと愛を育む教育』を、どのように進めていくのか。

**答** 「知る」「体験する」「自ら働く」の3つの視点から、地域の教育資源を活用し、五感にうったえる直接体験が大切と考えている。



福原小学校太鼓授業

2400万円、不納欠損額は約3000万円に上っている。現在、各担当課に任されている債権管理を一元化してはどうか。

**答** 「市税及び公共施設使用料など収納対策本部」を設置している。市税以外の債権管理は担当課で適正に行うことが原則である。限られた人材で複数の部署に関する関係法令を習得するのは難しい。

**問** 複数の滞納がある債務者には、相談に依りたり納付計画を立てるうえで役立つ。債務者を守るうえでも、一元管理を検討していただきたい。

**答** 調査・研究する。

# 4月からどう変わった 介護保険

市長……要支援の方の手続き業務が短縮された



星川 睦子 議員

# 国民健康保険の県との共同運営化の問題点は

市長……県に關係情報の早急な提示を要望している

## 国保の共同運営化について

**問** 国民健康保険(以下略して「国保」)が、H30年度より県との共同運営となり、来年の3月議会の予算審議まで期間がないが、スケジュールはどうなっているか。

**答** 県運営方式は、11月に方針決定、12月県議会報告、納付金は10月に仮算定し、1月確定の見込みであり、できる限り早めていただくよう要望している。

**問** 国保料が、全国各地の仮算定で高くなっているが、本市はどうなる見込みか。

**問** 一般的には制度の安定化のため公費が拡充されると予想している。

**答** 国保料の滞納者は県で11%(9世帯に1世帯)になっているが、本市の滞納者(率)は、13%34世帯となっている。

**問** 経済状況の悪化や、国保の構造的な問題、国庫支出割合が50%から25%に低下。国保世帯主の職業が、被用者、無職で8割をしめていることがあり滞納者がいるため、差押えはすべきでないと考えられているか。

**答** 経済状況の悪化や、国保の構造的な問題、国庫支出割合が50%から25%に低下。国保世帯主の職業が、被用者、無職で8割をしめていることがあり滞納者がいるため、差押えはすべきでないと考えられているか。

**問** 収納率向上のため、滞納者の戸別訪問や夜間納税相談など行っているか。



鈴木 清 議員

る。差押え行為は、地方税法の規定に基づき実施している。

**問** 国保料を抑えるため引き続き、一般会計から法定外繰入れを継続すべきではないか。

**答** H30年度以降、保険料は県へ納付することになる。基本的な納付基準も定まっていない状況にあり、「国保事業費納付金」は被保険者でまかなうものであり、法定外繰入を前提としたものではないと考えている。

**問** 尾花沢小学校の給食は県内でもまれな補食給食となっている。ご飯

を含めた完全給食とすべきでないか。またご飯代を他市町村のように助成してはどうか。冬期間ご飯を温める方法はないか。

**答** 学校の現状や共同調理場のあり方も含め、完全給食を検討したい。ご飯代の助成は他市の状況を見ながら、温かいご飯は外注方式も含めて検討したい。

**問** 6年後、尾花沢小学校が創立150周年を迎える。将来の人口ビジョンも考え新築計画をすべきでないか。

**答** 保護者や地域の方々のご意見を集約し、総合教育会議で検討したい。

# 農林業と中小企業の支援の施策は

市長……小規模農家への支援を進めていく

## 農林業の施策について

**問** 県では農業所得向上の目標を掲げ、収益の高い経営を実践するトップランナーの育成や、地域の農業を支援、園芸作物などの高収益作物への転換や複合経営などの後押しをするというが、市の考えはどうか。

**答** 市としてもこのプロジェクトに賛同し、市内外の農業経営に興味を持つ方や農業法人に向け広く周知し、積極的に関わっていく。

**問** 農地の集約化だけでなく小規模経営農家を守る事が大事である。市ではどのような支援策を考えているのか。

**答** 経営面積の制約や農業法人に限るなどの条件を設けず、小規模農家

に対しても農業に必要な機械等の支援を行ってきた。

**問** 「はえぬぎ」が特A評価を再度獲得できるように、品質向上や栽培方法について市としても取り組むべきではないか。

**答** 気象変化や地域特性にも対応した栽培技術の普及を図るため、「特A栽培モデル圃場を設置しており、県内4カ所あり、一つが市内にある。市としても県とともに、品質や栽培技術向上に努めている。

## 六次産業化

**問** 食肉加工施設の本市への誘致は、どの程度の可能性があるか。

**答** 現在山形食肉公社の施設は、建築後35年以上経過しているため、統合の可能性も含めた整備計画

画の検討をする考えである。黒毛和牛の処理頭数は本市出荷分が約5割を占め、県内一の黒毛和牛の産地である。本市への誘致を要望していきたい。

## 中小企業支援

**問** 国内における企業を取り巻く環境が厳しさを増す中で、県内中小企業・小規模事業者の稼ぐ力の充実・強化を図るため、県では、「中小企業スーパートータルサポート補助金」を創設した。本市でも企業への制度周知を図り、県と企業のパイプ役となるべきではないか。

**答** 国・県の支援制度について企業から相談を受けた場合には、地域コ―ディネーターにつないで、企業訪問による制度の説明や計画策定に関するアドバ

**問** 県では、非正規雇用上を総合的に推進するプロジェクトを全国に先駆けて実施するなど中小企業を支援する取組を行うとしている。本市でも中小企業を支援する取組を行うべきではないか。

**答** 市の中小企業に対する支援としては、企業対策専門員によるアドバイスや販路拡大などに関するマッチング、融資制度による支援、無料職業紹介、企業セミナーの開催による受注拡大、資格取得助成金による企業の技術力向上などを行っている。



奥山 格 議員

## 尾花沢市議会改革検討委員会報告

尾花沢市議会改革検討委員会

委員長代理 副委員長 加藤 克彦

議会改革検討委員会での検討結果について、ご報告申し上げます。

近年、地方議会を取り巻く環境は、大きな変革期を迎え、全国的に議会基本条例をはじめ議員定数や議員報酬、政務活動費、費用弁償など議員の身分や待遇に関する改革、また政策提言や常任委員会の改編、議事運営のあり方など、議会や議員の活動方針などについて、多くの地方議会がそれぞれの改革に向け、特別委員会などを組織し、自らの改革のため検討を行ってまいりました。

こうした中、先の尾花沢市議会議員選挙で現職議員が逮捕されるという、市議会への信頼を著しく失墜する、衝撃的な事件が起きてしまいました。

また、もう一つ改革の大きな柱であった「議員政治倫理条例の制定」については、先の平成29年3月定例会への議会案提出を目標に議論を進めてきたところですが、寒河江市議会での議会基本条例及び議員政治倫理条例の策定までの経緯等の研修を経て、議員政治倫理条例は議会基本条例と一緒に制定すべきという新たな意見が出されました。その結果、議員逮捕の不祥事を受け、議員自身を律する上でも時期を逸せずに先に議員政治倫理条例を制定すべきと、意見の一致が見られないことから保留することとなりました。委員会設立以来、全委員で8回もの議論、検討を進めてきたところですが、設立当初の大きな目標とした議員政治倫理条例の制定を保留する結果となりましたことは、議員一人一人が真剣に取り組んでいるからこそ、妥協できない部分もあったものと思いますので、平にご理解をお願いいたします。

そして、この議会改革検討委員会は、第7回委員会での菅根委員長が辞任する中、議員政治倫理条例の制定について意見の一

我々市議会としても、この事態を重く受け止め、逸早く市民からの信頼回復を得るために、平成27年10月16日に全議員で構成する任意の「議会改革検討委員会」を立ち上げ、各会派からの代表者で構成する「世話人会」を10回、「議会改革検討委員会」を8回開催し、菅根光雄委員長を中心として丁寧に議論を重ねてきました。

また、平成28年12月22日に寒河江市議会を訪問しての研修会では、「議会基本条例」及び「議員政治倫理条例」の策定の経緯や「2委員会制」について終始活発な質問や意見交換を行い、大変有意義な研修をさせていただきました。

このように、議会改革検討委員会で議論を進める中、意見がまとまったものから条致を見出せないことから、8回目の委員会をもって一旦終結することになりました。全員協議会の定例化や常任委員会のあり方等、議論半ばの検討事項につきましては、随時、全員協議会等で議論するなど、今後も、議員一人一人が責任を持って検討を進めるべきものと思っておりますのでよろしくお願いたします。

以上が、平成27年10月16日に設立された議会改革検討委員会における協議経過と検討結果となりますが、私達市議会議員が市民の方々の負託に応え、直面する課題や市民の方々に解り易い議会のあり方等について、常に調査・研究し続けることが、尾花沢市議会の発展に結びつくものだと思います。

これまで、委員会審議にご協力をいただいた関係機関並びに事務局、また真剣に調査・研究に当たられた各委員に対し、心から感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

### 尾花沢市議会改革検討委員会協議経過

- ◆平成27年11月27日(金)  
議員定数削減について(2名削減決定 12月定例会上程)  
定数16人を14人へ削減 平成31年7月選挙から
- ◆平成28年11月2日(水)  
常任委員会の改編について決定(12月定例会上程)  
3常任委員会を2常任委員会へ編成 平成29年8月から
- ◆平成29年1月23日(月)  
政務活動費の収支報告書と領収書などの添付書類をHPで公表

市のホームページから **市議会インターネットも見て下さい!**  
尾花沢市議会 検索 [www.city.obanazawa.yamagata.jp](http://www.city.obanazawa.yamagata.jp)

## せいがん 請願ってなあーに？

請願とは、市民が、文書で議会に要望を述べることです。  
意見に賛成してくれる紹介議員が最低一人は必要になります。議員の署名押印付きの請願書を議会に提出すると、委員会が審査します。  
本会議で出た採択・不採択の結果を、請願者に郵送で知らせてくれます。



《読者モニターの声》  
93号・94号を見くらべるのを楽しみにしています。



読者モニターの方より、多くの意見をいただき市民と議会の理解を深め、より良い議会だよりを届けていきたいと思えます。



5月25日(木)  
尾花沢市議会・議長室において、議会だより読者モニターをうけていただいた一般の5名の方々に、菅野議長より委嘱状を交付いたしました。

6月15日(木)  
北村山高校・校長室において、北村山高校の生徒さんへの委嘱について、柏倉校長に塩原委員長より委嘱状を交付しました。

## 議会だより読者モニター 委嘱状交付

テーブル茶席でのたしなみ方



そば粉を使った「おもだか」と紅と米粉を使った「花笠」の菓子

講師は上の畑焼陶芸センター所長の伊藤瓢堂氏

## 議会日誌 TOPICS

6月23日(金)

共同福祉施設

## 議員研修会 その2

## 請願のゆくえ

受理番号	請願者の住所及び氏名	紹介議員	請願の要旨	付託委員会
平成29年請願第1号	尾花沢市大字丹生596番地 尾花沢市農業を守る会 会長 菅野 駿	鈴木 清	「農業者戸別所得補償制度」の復活を求める請願	産業建設常任委員会
平成29年請願第2号	尾花沢市上町五丁目5番35号 尾花沢九条の会 共同代表 梅津 保一 // 鈴木ミツエ	青野 隆一 奥山 格	組織犯罪処罰法改正案(テロ等組織犯罪準備罪=共謀罪法案)の撤回を求める請願	総務文教常任委員会

### 賛成討論 「農業者戸別所得補償制度」の復活を求める請願

鈴木 清 議員

安倍政権の農業改革は、米の産出額が2割も減少し、稲作農家の所得が大きく下がっている。需給調整責任を放棄し生産者米価を暴落させ、コスト割れにした。民主党政権時代に導入した生産調整農家への直接支払い交付金10aあたり1万5千円をH26年から半減させ、H30年から廃止しようとしている。今、農業に必要なのは、価格補償を中心に所得補償を組み合わせ、生産コストをカバーする施策だ。請願の10aあたり1万5千円の直接支払い交付金の復活に私は大賛成である。全国の中山間地の農家に大きな希望を与えるものとなると思う。

### 賛成討論 「共謀罪」法案の撤回を求める請願

鈴木 清 議員

6月15日朝、国会ルール無視の「禁じ手」により採決が強行され「共謀罪」法が成立したことに、私は満身の怒りをこめて抗議したい。撤回を求める理由は次の3点。  
① 国際組織犯罪防止条約批准のためというが、今の法律で十分。刑法体系を変容させてはいけない。  
② 一般人が対象になる。組織犯罪者との区別は捜査当局の腹ひとつになり、SNS・メールも盗聴・監視される社会になる恐れがある。  
③ 内心の自由を侵すものである。憲法にある思想・良心の自由・表現の自由・通信の秘密に違反する違憲立法であり、現代版「治安維持法」だ。  
よって請願に賛成である。

## 6月定例会賛否状況

(賛否の分かれた議案のみ掲載、他は全会一致)

受理番号	案 件 名	表決の結果	○：賛成 ×：採決で起立しない議員 /：議長														
			鈴木裕雅	塩原未知子	笹原和子	伊藤浩	鈴木清	小関英子	武田佳久	大類好彦	星川睦子	青野隆一	奥山格	加藤克彦	菅野修一	須貝孝	菅根光雄
請願第1号	農業者戸別所得補償制度の復活を求める請願	不採択	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×	/	○	○
請願第2号	組織犯罪処罰法改正案の撤回を求める請願	不採択	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×	/	○	○